環境活動レポート

第 15 版

対象期間【2019 年 4 月～2020 年 3 月】

2020 年 10 月 31 日発行

沖縄県医療廃棄物事業協同組合

目　次

１．組織の概要・対象範囲・・・・・・・・・・　１～５

２．環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・　６

３．環境目標・・・・・・・・・・・・・・・・　７

４．環境活動計画　・・・・・・・・・・・・・　８

５．環境目標の実績・・・・・・・・・・・・・　９

６．環境活動計画の取組結果と・・・・・・・・　９～１０
　　その評価、次年度の取組内容

７．環境関連法規等の遵守状況の確認及び
　　評価の結果並びに違反、訴訟等の有無・・・１１

８．代表者による全体評価と見直しの結果・・・１２

1. 組織の概要

（1） 事業者名及び代表者名

沖縄県医療廃棄物事業協同組合

代 表 理 事　　南　秀 樹

（2） 【本社所在地】

〒904－2142

沖縄県沖縄市字登川 3410 番地の 1

【焼却・中和施設設置場所】

沖縄県沖縄市字登川 3328 番 1 他

（3） 環境保全関係の責任者及び「環境活動レポート」に関する問合せ先

環境管理責任者　事務局長　森根　進

担 当 者　佐久川　明美

連 絡 先　電話番号　(098) 939－9999

FAX 番号　(098) 939－6999

http://www.iryoukumiai.org/

E－mail　ikumi99@aurora.ocn.ne.jp

（4） 創立年月日

平成９年３月１２日

（5） 資本金

１,２５０万円

（6） 事業活動の内容

【特別管理産業廃棄物収集運搬業】　許可番号：第 04752054532 号

【特別管理産業廃棄物中間処分業】　許可番号：第 04772054532 号

【産業廃棄物収集運搬業】　許可番号：第 04702054532 号

【産業廃棄物中間処分業】　許可番号：第 04722054532 号

【一般廃棄物収集運搬業許可証　沖縄市】　沖市指令第 29 号

【一般廃棄物収集運搬業許可証　宜野湾市】　許可第 13 号

【一般廃棄物処分業許可証　沖縄市】　沖市指令第 30 号

（7） 事業計画の概要

医療機関より排出される医療廃棄物を収集運搬し、当組合の焼却施設で焼却処分する。

（8）　事業の規模

活動規模	単位	2017年度	2018年度	2019年度
収集運搬量	t	1,364	1,357	1,605
中間処理量	t	1,515	1,536	1,781
売　上　高	千円	194,056	195,812	223,796
従　業　員	人	14	14	12
事務所床面積	m^2	253	253	253

（9）許可の内容

【特別管理産業廃棄物収集運搬業】優良認定事業所
許可番号：第04752054532号
許可年月日：令和2年6月9日
有効年月日：令和9年6月8日
事業の範囲：感染性産業廃棄物、廃油
（積替え保管を含まない）

【特別管理産業廃棄物中間処分業】優良認定事業所
許可番号：第04772054532号
許可年月日：平成26年1月21日
有効年月日：平成33年1月20日
事業の範囲：感染性産業廃棄物、廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥

【産業廃棄物収集運搬業】優良認定事業所
許可番号：第04702054532号
許可年月日：令和2年7月12日
有効年月日：令和9年7月11日
事業の範囲：燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、動物の死体、ばいじん
（積替え保管を含まない）

【産業廃棄物中間処分業】優良認定事業所
許可番号：第04722054532号
許可年月日：令和2年7月12日
有効年月日：令和9年7月11日
事業の範囲：燃えがら、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、動物の死体、ばいじん、廃酸、廃アルカリ

【一般廃棄物収集運搬業許可証】（沖縄市）
許可番号：沖市指令第29号
許可年月日：平成31年4月20日
有効年月日：令和　3年4月19日
事業の範囲：紙くず、木くず、繊維くず

【一般廃棄物収集運搬業許可証】（宜野湾市）
許可第13号
許可年月日：令和　1年11月1日
有効年月日：令和　3年10月31日
事業の範囲：紙くず、木くず、繊維くず

【一般廃棄物処分業許可証】（沖縄市）
許可番号：沖市指令第30号
許可年月日：平成31年4月20日
有効年月日：令和　3年4月19日
事業の範囲：紙くず、木くず、繊維くず

（１０）施設等の状況

①　運搬車輌の種類
沖縄100せ5804　（バン）1台
沖縄100せ5805　（バン）1台
沖縄100せ2523　（バン）1台
沖縄100そ3740　（バン）1台

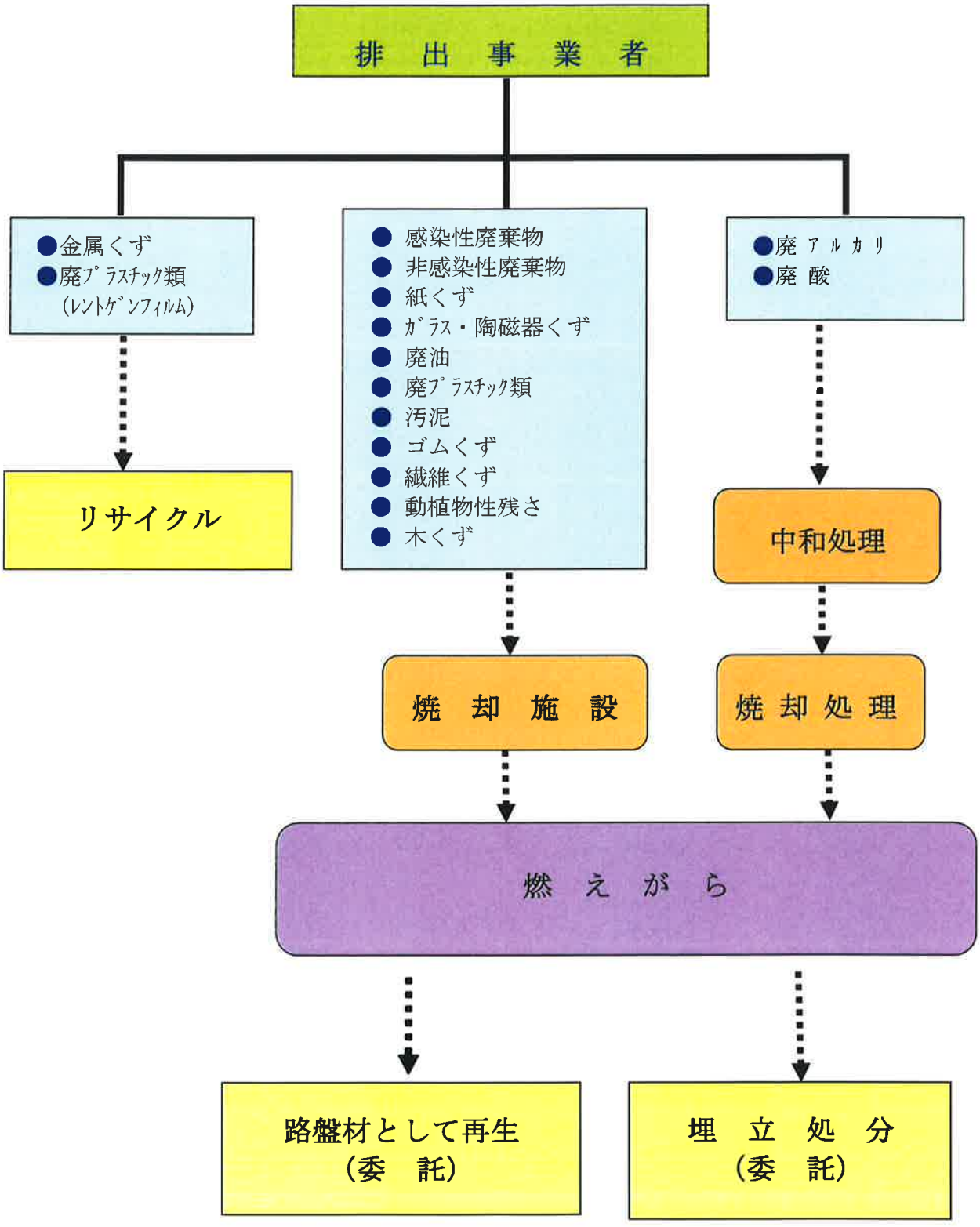
②　処理施設の種類
焼却施設　処理能力　600ｋｇ／時間
中和施設　処理能力　15㎥／日

処理した種類：感染性産業廃棄物、非感染性廃棄物、廃プラスチック類、紙くず、
廃アルカリ、廃酸、ガラス・陶磁器くず、木くず、
動植物性残さ、廃油、繊維くず、ゴムくず、汚泥、金属くず

（１１）対象範囲

全組織・全活動が適用範囲となっております。

処理方式及び処理工程図



当組合の環境経営システムの運用組織

環境経営組織図

代表理事
（統括責任者）
南　秀樹

◆ 当組合の環境経営最高責任者として次の役割を負う。
・環境経営システム管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。
責任者には、現在の責務に関わりなく、責任と権限を明確にする。
・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源〔人材・設備・資金・情報〕を準備する。
・環境経営に関する長期戦略・基本方針を策定し、基本的な環境目標を設定する。
・環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめシステム全体の見直しを行ない必要であれば改訂を指示する。

（環境管理責任者）
事務局長
森根　進

◆　環境経営システムの管理責任者として、次の役割を負う。
・環境経営に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目標を達成するために、環境経営に関する推進委員会を運営する。
・環境経営システムの構築と運用を円滑に行ない、最高責任者による見直しのために、その構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。

営業課長
（現場管理担当者）
島袋　康

◆ 自己の管理範囲内において、全員参画による環境経営システムの運用及び管理に責務を負い、部署内の担当の選任・必要な教育訓練、知識等の向上を図る。又、環境経営最高責任者及び環境経営システム管理責任者を補佐し、掌括範囲内の全員参画による、環境経営システムの運用と改善を推進する。

総務・経理課（３名）
（EA21 推進事務局）

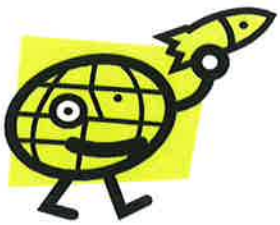
収集運搬業務課（３名）

処分業務課（３名）
（環境ソリューション委託管理）

◆環境目標とその実績のチェックを行なう。

◆〈　全従業員　〉
・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚する。
・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

2．環　境　方　針



当組合は、医療廃棄物の適正処理、低炭素社会、循環型社会並びに自然共生社会の形成をめざすと同時に県民の生活環境の保全に貢献します。

《行動指針》

当組合は、全ての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、廃棄物処理に関する事業遂行能力〔人材・設備・資金・情報〕を駆使し、以下の環境保全活動を推進する。

1．　当組合は「より良い環境を次世代に」をテーマに、蓄積した医療廃棄物処理技術を通して、地球環境の保全に貢献します。

2．　国、地方自治体等の環境に関連する法令規制及び当組合が同意したその他の要求事項を遵守します。

3．　医療廃棄物の収集・運搬及び処理の事業活動において、廃棄物の削減、分別リサイクル、節水及び省エネルギーの取組を推進する。

4．　焼却炉の適正運転管理を徹底する。又、収集運搬車輌のエコドライブを実践し、排出ガスの抑制を図る。

5．　全職員に対する環境教育を計画的に実施し、環境保全に対する意識の向上に努めるとともに、一人一人が良き社会人として行動する。
　又、環境方針は、全職員に周知徹底することはもとより、社外にも開示する。

6．　グリーン購入の調達を推進する。

改定日：２０２０年　３月３１日
沖縄県医療廃棄物事業協同組合
代表理事　南　秀樹

3． 環境目標

環境への負荷の状況を取りまとめて検討した結果、当組合の事業活動が環境に与える負荷項目として下記が該当する。水使用量を 2018 年実績基準値、各項目基準値を全て 2017 年度実績基準に見直した。毎年下記のとおりの削減を目標とする。なお、当組合は、化学物質の取扱いは無い。

① 二酸化炭素排出量・・・2017 年度を基準値に、二酸化炭素排出量として購入
（2%削減）　　電力・化石燃料・廃棄物焼却とする。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は 2017 年度実排出係数 0.786 kg-CO_2/ｋＷｈで算出する。

② 廃棄物総排出量・・・・2017 年度を基準値に、廃棄物総排出量として事務所
（2%削減）　　からのごみ一般廃棄物とする。
産業廃棄物の排出として、受入量に 3%をかけた
量を燃え殻とする。

③ 水使用量・・・・・・・2018 年度を基準値に、総排水量の把握が困難な為、
（1%削減）　　水資源投入量（上水と地下水）で把握する。

④ 化石燃料使用量・・・2017 年度を基準値に、化石燃料として重油・ガソリン・
（1%削減）　　軽油を使用している。

⑤ グリーン購入の調達・・事務用品環境配慮商品の調達基準・目標値を構成比の
50%とする。

⑥ 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境を配慮

目標値（受入量での比率）	基準値	2019 年度目標	2020 年度目標	2021 年度目標
二酸化炭素排出量（kg-CO_2）/ｋｇ	0.35	0.34	0.33	0.32
廃棄物総排出量（ｋｇ）/ｋｇ×1,000	0.15	0.14	0.13	0.12
水使用量（m^3）/ｋｇ×1,000	1.04	1.03	1.02	1.01
化石燃料量（MJ）/ｋｇ	1.41	1.40	1.39	1.38
グリーン購入の調達				
営業車は、エコカーを購入する	5 台	5 台	5 台	5 台
事務用品環境配慮商品の調達構成比	30%	50%	50%	50%
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	受託した産業廃棄物の分別リサイクルに取り組む			

① 二酸化炭素排出量目標値＝排出量÷廃棄物受入量にて算出
② 廃棄物総排出量目標値＝排出量÷廃棄物受入量×1,000 にて算出
③ 水使用量目標値＝使用量÷廃棄物受入量×1,000 にて算出
④ 化石燃料使用量目標値＝化石燃料量÷廃棄物受入量にて算出

4．環境活動計画

① 二酸化炭素排出量
- 廃棄物の分別を徹底し再使用、再利用に取り組む。
- 焼却炉処理施設の整備点検を定期的に行う。
- 焼却炉の燃焼温度を850℃以上に保ち温度管理を徹底する。
- 燃焼効率を高め運転管理を徹底する。
- 空調機器の設定は冷房28℃程度とする。
- 昼休み、時間外の照明等は停止する。
- 植栽により二酸化炭素吸収に取り組む。

② 廃棄物排出量
- 事務所から排出される廃棄物等の発生を抑制し、分別を徹底する。
- コピー用紙等の裏紙利用を徹底する。
- コピー機、プリンターのカートリッジ容器は、販売業者へ返却する。
- 書類の電子化
- エコ商品を積極的に購入する。

③ 水使用量
- 排水処理施設からの排水を焼却炉の冷却水とし再利用し、地下水の使用量を削減する。
- 収集運搬車輌の洗車時、植栽の散水等、節水に取り組む。

④ 化石燃料使用量
- 排気ガス、騒音、振動等のレベルを抑えるため車輌整備を徹底して行う。
- 収集運搬車輌の取扱について、エコドライブを推進する。
- 作業時間、走行距離の短縮化、運搬経路（渋滞等）を考慮し収集運搬の効率を高める。

⑤ グリーン購入の調達の推進
- 車輌の購入時にはエコカーを検討購入する。
- 環境配慮商品から優先的に購入する。
- 事務用品調達リストを作成し、事務用品総購入額に対して、環境配慮商品購入額の構成比50%に取り組む。

⑥ 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

（処分業）
- 受託した産業廃棄物を金属くず、レントゲンフィルムの分別リサイクルに取り組み数量を把握する。

（収集運搬分業）
- 収集運搬担当者のエコドライブ教習受講で、収集運搬車両の燃費向上に取り組む。

5. 環境目標の実績

目標値（受入量での比率）	基準値	2019 年度目標	2019 年度実績	
二酸化炭素排出量（kg-CO_2）/ｋｇ	0.35	0.34	0.29	○
廃棄物総排出量（ｋｇ）/ｋｇ×1,000	0.15	0.14	0.05	○
水使用量（㎥）/ｋｇ×1,000	1.04	1.03	0.88	○
化石燃料量（MJ）/ｋｇ	1.41	1.40	1.24	○
グリーン購入の調達 営業車は、エコカーを購入する	5 台	5 台	5 台	○
事務用品環境配慮商品の調達構成比	30%	50%	50%	○
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	受託した産業廃棄物の分別リサイクルに取り組んだ。			○

二酸化炭素排出量実績(0.29)=排出量(509,138)÷廃棄物受入量(1,781,060)
事務所廃棄物総排出量実績(0.05)=排出量(93)÷廃棄物受入量(1,781,060)×1,000
水使用量実績(0.88)＝投入量(1,561)÷廃棄物受入量(1,781,060)×1,000
化石燃料量実績(1.24)＝化石燃料量(2,216,159)÷廃棄物受入量(1,781,060)

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

① 二酸化炭素排出量

【取組結果・評価】
焼却施設の整備点検・燃焼効率を高める運転管理等に取り組む事と、事務所電気使用量が、前年同様 LED 照明器具に取替した結果、目標値を達成する事ができた。

【次年度の取組内容】
引き続き環境活動計画内容に取り組む。
エアコンの設定温度管理とブラインド利用で明るさを調整し、不要照明の消灯を徹底する。

② 廃棄物総排出量

【取組結果・評価】
新聞紙のリサイクル、書類の裏紙利用、封筒の再利用等を取り組む事で目標値を達成することができた。

【次年度の取組内容】
詰替え可能な製品利用で、事務所廃棄物総排出量の削減に取り組む。

③　水使用量

【取組結果・評価】
上水使用量は、活動計画を継続して取り組む事で使用量を削減する事ができた。

【次年度の取組内容】
前年同様、環境活動計画に取り組む。地下水メーター計測実数を考慮して
目標値の見直しを検討する。

④ 化石燃料使用量

【取組結果・評価】
焼却施設、回収車輌の整備点検等の強化に取り組んだ結果、目標を達成する
事ができた。

【次年度の取組内容】
回収車輌の適切な収集運搬計画を立て、走行距離の短縮化、エコドライブ
を今後も心掛ける。

⑤ グリーン購入の調達を推進する

【取組結果・評価】
事務用品の購入を環境配慮商品取扱が多い業者に選定をする事で、
目標値の調達構成比 50%を達成する事ができた。

【次年度の取組内容】
事務用品の新規商品注文時、環境配慮商品確認を心掛けて調達
構成比の目標値を上げることに努める。

⑥ 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分業における環境配慮

【取組結果・評価】
収集運搬環境配慮は、収集運搬車輌の作業確認点検表、業務日報記録
により効率的なルート配送、エコドライブに取り組む事ができた。

受託した産業廃棄物の環境配慮は、前年同様に分別、リサイクルに
取り組む事ができた。

【次年度の取組内容】
引き続き収集運搬・処分業務における環境配慮に取り組む。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

承認	作成
森根	髙川

当組合に適用となる環境関連法規は、下記のとおりである。

2020年3月

	法規規制等の名称	遵守事項	測定頻度 遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・特管・産廃処分業・収集運搬業許可証の更新	5年毎・適
		・産業廃棄物処理施設設置許可証の申請	適
		・産業廃棄物処理委託契約書の保存	5年間・適
		・マニフェストの保存	5年間・適
		・廃棄物処理施設の維持管理情報の公開	毎月・適
		・産業廃棄物処理施設技術管理責任者の設置	適
2	大気汚染防止法	ばい煙発生施設設置届出書	年2回測定 適
3	騒音規制法	特定施設の設置届出書	適
4	振動規制法	特定施設の設置届出書	適
5	悪臭防止法	特定悪臭物質の測定結果報告書	年1回測定 適
6	ダイオキシン類対策特別措置法	ダイオキシン類測定結果報告書	年1回測定 適
7	消防法	・少量危険物貯蔵届出書	適
		・ボイラー設置届出書	適
8	沖縄市公害防止条例	公害防止協定	年1回報告 適
9	グリーン購入法	物を購入、調達する際の環境への配慮	適
10	浄化槽法	汲取り清掃	年1回 適
11	フロン排出抑制法	フロン類使用の合理化及び管理の適正化	年1回 適

（1）環境関連法規への違反の有無

無し。

（2）訴訟等の有無

無し。

代表者による全体の評価と見直し

始めに2019年度の環境配慮目標に対する実績結果は、二酸化炭素排出量、廃棄物総排出量、水使用量、化石燃料量、グリーン購入の調達、各目標をクリアーした。そしてエコドライブや分別リサイクルの取組強化で産業廃棄物に於ける収集運搬、処分への環境配慮ができた。
従来から取組んでいる環境負荷軽減、ＣＳＲ活動の一環として周辺主要道路を月１回グループ会社で清掃活動（名称をクリーンデー）を実施、周辺地域の環境啓発活動として継続しています、そして社員教育活動も環境配慮や維持活活動に関する研修会を適時に開催し環境への意識高揚を図っています。

2019年８月から12月の期間に「Co2削減ポテンシャル診断補助事業」を受けたことが大きい、設備へのCo2削減部分が見えたことで今後の改善へ繋がると思います。

まとめとして、上記の活動も踏まえ、世界共通「ＳＤＧｓ」継続可能な開発目標を弊組合がエコアクション21と絡め、これまでの活動目標を維持しながら新たな発想を以て目標を高めていきたい。
弊組合に於いては、環境省が通知する、産業廃棄物業者への優良認定制度に於いて指定する全ての許可に於いて優良認定を取得、沖縄県地元企業では初のパーフェクト取得です。

最後に、事業活動を通じ弊組合では、トップから末端社員に至るまでベクトルをひとつに自信と誇りを持ち更なる努力を重ねて行く所存です。
宜しくお願い致します。

2020年３月31日
沖縄県医療廃棄物事業協同組合
代表理事　　南　秀樹